

奈良県青少年の健全育成に関する条例施行規則の一部改正新旧対照表

改 正 後	改 正 前
<p>(有害図書類とする写真等の内容)</p> <p>第五条 条例第二十一条第二項第一号から第三号までに規定する規則で定める内容は、次の各号のいずれかに該当するものとする。</p> <p>一 略</p> <p>二 性交又はこれに類する性行為で、次のいずれかに該当するもの（陰部を明らかに連想させるように陰部を覆い、ぼかし、又は塗りつぶしたものを含む。）</p> <p>ア 略</p> <p>イ 強制性交等その他の陵辱行為</p> <p>ウ及びエ 略</p> <p>(携帯電話インターネット接続役務提供事業者等の説明事項)</p> <p>第十条 条例第三十条の二第二項第二号に規定する規則で定める事項は、次に掲げるとおりとする。</p> <p>一 保護者が青少年有害情報フィルタリングサービスを利用しない旨の申出をする場合には、条例第三十条の二第二項に規定する青少年有害情報フィルタリングサービスを利用しないことがやむを得ないと認められる理由が必要であること及び同項に規定する理由書の提出が必要であること。</p> <p>二 保護者が青少年有害情報フィルタリング有効化措置を講ずることを希望しない旨の申出をする場合には、条例第三十条の二第五項に規定する青少年有害情報フィルタリング有効化措置を講ずることを希望しない理由が必要であること及び同項に規定する理由を記載した書面又は電磁的記録の提出</p>	<p>(有害図書類とする写真等の内容)</p> <p>第五条 条例第二十一条第二項第一号から第三号までに規定する規則で定める内容は、次の各号のいずれかに該当するものとする。</p> <p>一 略</p> <p>二 性交又はこれに類する性行為で、次のいずれかに該当するもの（陰部を明らかに連想させるように陰部を覆い、ぼかし、又は塗りつぶしたものを含む。）</p> <p>ア 略</p> <p>イ 強姦その他のりよう辱行為</p> <p>ウ及びエ 略</p> <p>(携帯電話インターネット接続役務提供事業者等の説明事項)</p> <p>第十条 条例第三十条の二第二項第三号に規定する規則で定める事項は、次に掲げるとおりとする。</p> <p>一 携帯電話インターネット接続役務提供事業者が提供する青少年有害情報フィルタリングサービスの内容</p> <p>二 保護者が青少年有害情報フィルタリングサービスを利用しない旨の申出をする場合には、条例第三十条の二第三項に規定する青少年有害情報フィルタリングサービスを利用しないことがやむを得ないと認められる理由が必要であること及び同項に規定する理由書の提出が必要であること。</p>

改正前	改正後
<p>が必要であること。</p> <p>（青少年有害情報フィルタリングサービスを利用しないことがやむを得ないと認められる理由）</p> <p>第十一条 条例第三十条の二第二項に規定する規則で定める理由は、次に掲げるとおりとする。</p> <p>一 及び二 略</p> <p>三 保護者が、その保護する青少年の携帯電話端末等からのインターネットの利用の状況を適切に把握すること等により、当該青少年が青少年有害情報を閲覧し、又は視聴することがないようにすること。</p> <p>（青少年有害情報フィルタリング有効化措置を講ずることを希望しない理由）</p> <p>第十二条 条例第三十条の二第五項に規定する規則で定める理由は、保護者が、自らの責任において青少年有害情報フィルタリング有効化措置を講ずることとする。</p> <p>第十三条～第十七条 略</p>	<p>（青少年有害情報フィルタリングサービスを利用しないことがやむを得ないと認められる理由）</p> <p>第十一条 条例第三十条の二第三項に規定する規則で定める理由は、次に掲げるとおりとする。</p> <p>一 及び二 略</p> <p>三 保護者が、その保護する青少年の携帯電話端末又はPHS端末からのインターネットの利用の状況を適切に把握すること等により、当該青少年が青少年有害情報を閲覧し、又は視聴することがないようにすること。</p> <p>第十二条～第十六条 略</p>